

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				市本 尋庸
廃2018	—	11	—	0130
調整後保管日時				2018年11月9日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	佐藤 英明	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日 (金)		11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事					横須賀 隆	横須賀 隆	平野 大樹	
	発生場所	Eエリア(P-26 北)					2018/11/6	2018/11/6	2018/11/6	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	平野 大樹	TEL	0240-30-7345		
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)			担当者	関根 利行	TEL	080-9049-4850		
	線量測定年月日	2018/10/24	測定者	佐久間 善秀	測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-059		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	キムタオル	A	01	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2	ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	3	難燃シート類	C	02	D	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.001 mSv/h	無
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	キムタオル	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 10:50	0.2 m ²			1
	2	1	ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 10:50	1.3 m ²			1
	3	1	難燃シート類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 10:50	1.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 凍土壁補助工法工事						赤木 泰雄	赤木 泰雄	後藤 貴哉
	発生場所	4号機西側(GL-26 北)						2018/10/18	2018/10/16	2018/10/16
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	信田 英之		TEL	963-3878
	元請会社	鹿島建設株式会社				担当者	坂本 健		TEL	080-6843-5553
	線量測定年月日	2018/9/25	測定者	柴野 一磨		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-360
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無
2	木材類	A	03	D	B	2 m ²	50 μ Sv/h	50 μ Sv/h	無	
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	巡回回収場所: GL-26 北									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0008	
調整後保管日時					2018年11月9日
調整後保管日時					8:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。					

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 8:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理	保管希望日時	2018年11月6日		(火)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務				井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦	
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2018/10/24	2018/10/24	2018/10/24	
	作業主管 G	総務グループ		監理員	佐藤 雅彦	TEL	0240-30-5625		
	元請会社	株式会社アトックス		担当者	新野 達也	TEL	090-9638-1163		
線量測定年月日	2018/10/24	測定者	高橋 健一	測定器名	F1-ICW	管理番号	074		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③				β+γ 線量率	
	1 紙類	A	01	D	A	5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2					m ²			
入 欄	3					m ²			
	4					m ²			
	5					m ²			
メ モ	巡回回収場所: GM-19 北東 11月6日回収、11月7日保管								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0024
調整後保管日時				2018年11月6日 9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月6日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/10/24	2018/10/24	2018/10/24
	作業主管 G	総務グループ				監理員	佐藤 雅彦		TEL	0240-30-5625
	元請会社	株式会社アトックス				担当者	新野 達也		TEL	090-9638-1163
	線量測定年月日	2018/10/24	測定者	高橋 健一		測定器名	FI-ICW		管理番号	074
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙類	A	01	D	A	5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メ モ	巡回回収場所: GM-19 北東 11月6日回収、11月7日保管									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0025	
調整後保管日時					2018年11月6日 10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:30	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6010112 - 0001	
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年11月2日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名		福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務				井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦		
	発生場所		福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2018/10/24	2018/10/24	2018/10/24		
	作業主管G		総務グループ		監理員	佐藤 雅彦		TEL	0240-30-5625		
	元請会社		株式会社アトックス		担当者	新野 達也		TEL	090-9638-1163		
	線量測定年月日		2018/10/24	測定者	高橋 健一		測定器名	F1-ICW		管理番号	074
	No.		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1		A 02 D A			5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無		
	2					m ²					
	3					m ²					
4					m ²						
5					m ²						
巡回回収場所:GM-19 北東											

線量測定内容										
測定日		2018年11月7日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号							
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158							
2										
3										
4										

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
	1	1	ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:30	5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月2日	(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務			井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦			
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/10/24	2018/10/24	2018/10/24			
	作業主管G	総務グループ		監理員	佐藤 雅彦	TEL	0240-30-5625			
	元請会社	株式会社アトックス		担当者	新野 達也	TEL	090-9638-1163			
	線量測定年月日	2018/10/24	測定者	高橋 健一	測定器名	F1-ICW	管理番号			
							074			
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ビニール類	A	02	D	A	5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
メ モ	巡回回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	
調整後保管日時				2018年11月7日
2018/10/25				10:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1.	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:30	4.8 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012319 - 0001

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月31日	(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	化学分析及び放射能測定業務			笠間 洋次郎	笠間 洋次郎	畑中 直人			
	発生場所	化学分析棟(GT-27南西)			2018/10/25	2018/10/25	2018/10/25			
	作業主管G	分析評価グループ			監理員	畑中 直人	TEL 963-4159			
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)			担当者	池田 幹彦	TEL 963-8499			
	線量測定年月日	2018/10/25	測定者	水戸 雅也	測定器名	β・γ電離箱	管理番号 F1-ICWBL-6			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ポリ瓶)	A	02	D	A	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
【回収】巡回回収場所:GT-27南西 (他の車両進入がない場合に重量≤3.5t車でのみ分析棟地下階屋根部へ車両進入。分析評価G殿了承。)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0028
調整後保管日時				2018年11月7日 10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(ポリ瓶)(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 10:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013210 - 0001

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月2日		(金)	9:30		承認	審査	作成		
	作業件名	#1ガレキ撤去工事						小笹 寿幸	小笹 寿幸	小山 龍二	
	発生場所	回収場所 : 鉄塔ヤード(GP - 22 北)						2018/10/26	2018/10/26	2018/10/26	
	作業主管 G	1号機建築グループ				監理員	齋藤 剛		TEL	0240 - 30 - 7316	
	元請会社	清水・鹿島・竹中・前田・安藤ハザマ JV				担当者	吉田 新		TEL	0240 - 25 - 8351	
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/25	測定者	杉山 英人		測定器名	電 離 箱		管理番号	F1 - ICWBL - 37	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	可燃物:紙・ウェス類	A	01	W	B	0.45 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
	2	可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無	
3	可燃物:可燃物その他(吸着マット類)他	A	04	W	B	0.05 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
4	雑草(枝・葉)	A	04	D	A	1 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	無		
5						m ²					
メモ	1) 可燃物収納ビニール袋は結露してます。 2) 雑草は、 ¹ 袋に収納してます。 3) 巡回回収場所: 鉄塔ヤード(GP - 22 北)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0030
調整後保管日時				2018年11月7日 9:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1		可燃物:紙・ウェス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:45	0.4 m ²			1
2	1		可燃物:プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:45	1.8 m ²			1
3	1		可燃物:可燃物その他(吸着マット類)他	2 μSv/h	3 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:45	2.6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年10月31日	(水)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事			白井 博行	小椋 富味男	小椋 富味男		
	発生場所	G1タンク盛土上(GK30の南)			2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	佐々木 辰茂	TEL 0240-30-7289		
	元請会社	大成建設(株)			担当者	飯山 雄一	TEL 080-9343-2827		
線量測定年月日	2018/10/29	測定者	長野 勝	測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	改良材空袋可燃物その他	A 04	D B	4 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリエステル	A 02	D B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3	紙・ダンボール・ウエス	A 01	D B	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4				m ³					
5				m ³					
巡回回収場所	GK-30南、コンテナ車希望								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0032
調整後保管日時				2018年11月8日 8:00
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1		改良材空袋可燃物その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 8:20	5 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月1日		(木)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事						白井 博行	小椋 富味男	小椋 富味男
	発生場所	G1タンク盛土上(GK30の南)						2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	佐々木 辰茂		TEL	0240-30-7289
	元請会社	大成建設(株)				担当者	飯山 雄一		TEL	080-9343-2827
	線量測定年月日	2018/10/29	測定者	長野 勝		測定器名	電離箱式サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-70
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	改良材空袋可燃物その他			A 04 D B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2	プラスチック・ポリエステル			A 02 D B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
3	紙・ダンボール・ウエス			A 01 D B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
4					m ²					
5					m ²					
メ モ	巡回回収場所: GK-30南、コンテナ車希望									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0033	2018/10/29
調整後保管日時		2018年11月8日			8:00
【保管時の指示事項等】					
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	改良材空袋可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 8:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
06	保温材			07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
F	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月1日	(木)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事			白井 博行	小椋 富味男	小椋 富味男		
	発生場所	G1タンク盛土上(GK30の南)			2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	佐々木 辰茂	TEL 0240-30-7289		
	元請会社	大成建設(株)			担当者	飯山 雄一	TEL 080-9343-2827		
線量測定年月日	2018/10/29	測定者	長野 勝	測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	木材類	A 03	D B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2				m ²				
	3				m ²				
入	4				m ²				
	5				m ²				
欄	巡回回収場所: GK-30南 コンテナ車希望								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0035
調整後保管日時				2018年11月8日 9:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:30	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月2日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事				白井 博行	小椋 富味男	小椋 富味男		
	発生場所	G1タンク盛土上(GK30の南)				2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	佐々木 辰茂	TEL 0240-30-7289		
	元請会社	大成建設(株)				担当者	飯山 雄一	TEL 080-9343-2827		
	線量測定年月日	2018/10/29	測定者	長野 勝	測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-70		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
1	改良材空袋可燃物その他	A	04	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリエステル	A	02	D	B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3	紙・ダンボール・ウエス	A	01	D	B	0.5 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
4						m ²				
5						m ²				
巡回回収場所	GK-30南、コンテナ車希望									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0036	2018/10/29
調整後保管日時		2018年11月8日			11:30
【保管時の指示事項等】					
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	改良材空袋可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:00	3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0023

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G6エリアタンクリプレイス関連工事						横須賀 隆	横須賀 隆	行田 信司	
	発生場所	G6、H6北、G4タンクエリア						2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	行田 殿	TEL	0240-30-7239			
	元請会社	(株)東京エネシス			担当者	溝口 宗久	TEL	080-5926-1082			
線量測定年月日	2018/11/29	測定者	庭瀬 輝美		測定器名	ICW(BL)		管理番号	F1-ICWBL-72		
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラ・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
巡回回収場所	GS-23南東										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0037	2018/10/30
調整後保管日時		2018年11月8日			10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:20	0.9 m ²			1
	2	1	プラ・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:20	0.2 m ²			1
	2	2	プラ・ポリ・ビニール類(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:20	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013213 - 0004

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年10月31日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1～3号機T/B下屋雨樋浄化材設置工事						阿見 正人	高橋 俊雄	高橋 俊雄	
	発生場所	3号機 T/B建屋						2018/10/29	2018/10/29	2018/10/29	
	作業主管G	建築水対策グループ				監理員	泉 克樹 殿	TEL	0240-30-7283		
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)				担当者	山口 達也	TEL	080-6848-3312		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/10/17	測定者	新地 正朗		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-110	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	ケミカル袋	A	04	D	B	0.5 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
	2	ゴム、ゴム長靴	C	01	D	B	0.2 m ²	0.008 mSv/h	0.008 mSv/h	無	
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
メモ	巡回回収場所:マップ記号GT-24TPTクリエイト倉庫前										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0038
調整後保管日時				2018年11月7日 11:00
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ケミカル袋	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.05 m ²			1
	2	1	ゴム、ゴム長靴	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	状態	D:乾燥, W:湿気有		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】				馬場 悟	馬場 悟	佐藤 陽祐			
	発生場所	モバイルROIア, G6エリア				2018/10/30	2018/10/30	2018/10/30			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	佐藤 陽祐	TEL	0240-30-6855				
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)		担当者	坂本 隆史	TEL	090-2747-4086				
線量測定年月日	2018/10/5	測定者	鰐 浩二	測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-120				
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	①	②	③								
	1	プラスチック・ビニール類	A	02	D	B	2 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
	2	難燃物その他	C	04	D	B	3 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
巡回回収場所	GR-09										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0044
調整後保管日時				2018年11月8日 10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:00	0.6 m ²			1
	2	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:00	2.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0029

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0045
調整後保管日時				2018年11月9日 11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	佐藤 英明	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	11:00	承認	審査	作成
	作業件名	雨水移送設備処理設備PE管他設置工事【その2】				馬 上 悟	馬 上 悟	佐藤 陽祐
	発生場所	モバイルROエリア, G6エリア				2018/10/30	2018/10/30	2018/10/30
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	甲高 健二	TEL	0240-30-6801	
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)		担当者	坂本 隆史	TEL	090-2747-4086	
	線量測定年月日	2018/10/5	測定者	鏑 浩二	測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-120
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β + γ 線量率
	1	プラスチック・ビニール類	A 02	D B	3 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	2	難燃物その他	C 04	D B	2 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無
3				m ²				
4				m ²				
5				m ²				
メ モ	巡回回収場所: GR-09							

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 11:00	1.2 m ²			1
	2	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 11:00	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0001

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:00	承認	審査	作成												
	作業件名	セシウム吸着塔保管管理				提審 哲也	提審 哲也	草野 翔太												
	発生場所	一時保管第二施設 GL-30北				2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31												
	作業主管G	処理設備グループ		監理員	草野 翔太	TEL	0240-30-6384													
	元請会社	株式会社 ATOX		担当者	渡邊 幸弘	TEL	070-2163-6599													
線量測定年月日	2018/10/30	測定者	田中 国雄	測定器名	ICW, ICWBL	管理番号	076-108													
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率											
		①	②	③																
		1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A						02	D	B	2.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	紙・ウエス類	A						01	W	B	1.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3	可燃その他	A						04	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
4	ゴム類	C	01	D	B	0.5	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無								
5						m ²														
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				市本 尋庸
高2018	—	11	—	0046
				2018/10/31
調整後保管日時		2018年11月8日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:30	1.2 m ²			1
	2	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:30	1.1 m ²			1
	3	1	可燃その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:30	0.1 m ²			1
	4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 10:30	0.1 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 記 入 欄 ※ モ	保管希望日時	2018年11月5日		(月)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)						横須賀 隆	横須賀 隆	高橋 秀	
	発生場所	定換機材倉庫A・B棟						2018/11/5	2018/11/5	2018/11/5	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	高橋 秀		TEL	0240-30-5429	
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)				担当者	遠藤 洋一		TEL	070-2162-1916	
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者	高岡信人		測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	221,14	
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	フランジタンク片天板(180110)				① B ② 11 ③ D A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m ²					
3						m ²					
4						m ²					
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				白川 盛一
高2018	—	11	—	0050
調整後保管日時				2018年11月5日 13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年11月5日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	森谷 真三	ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 ※ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片天板(180110)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/11/5 14:07	21 m ²		180110	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※ モ												

※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月6日		(火)	13:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)					横須賀 隆	横須賀 隆	高橋 秀	
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2018/11/7	2018/11/7	2018/11/7	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	高橋 秀	TEL	0240-30-5429		
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)			担当者	遠藤 洋一	TEL	070-2162-1916		
線量測定年月日	2018/11/6	測定者	松本周平		測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	158,14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	フランジタンク片側板(180199)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注	α有、βα有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				白川 盛一
高2018	—	11	—	0051
調整後保管日時				2018年11月6日 13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月6日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	川村 俊平	ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180199)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/11/6 14:06	21 m ²		180199	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
注	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	13:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)					横須賀 隆	横須賀 隆	高橋 秀		
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟					2018/11/7	2018/11/7	2018/11/7		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	高橋 秀	TEL	0240-30-5429			
	元請会社	東京パワーテクノロジー㈱			担当者	遠藤 洋一	TEL	070-2162-1916			
	線量測定年月日	2018/11/7	測定者	松本周平		測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	158,14	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(180190)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				白川 盛一
高2018	—	11	—	0052
調整後保管日時				2018年11月7日 13:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	車田 貴男	ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180190)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2018/11/7 11:20	21 m ²		180190	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				白川 盛一
高2018	—	11	—	0053
調整後保管日時				2018/11/12
2018年11月8日				13:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)				横須賀 隆	横須賀 隆	高橋 秀		
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟				2018/11/12	2018/11/12	2018/11/8		
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	高橋 秀	TEL	0240-30-5429			
	元請会社	東京パワーテクノロジー㈱		担当者	遠藤 洋一	TEL	070-2162-1916			
	線量測定年月日	2018/11/8	測定者	鈴木雅之	測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	158,14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	フランジタンク片側板(180119)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	車田 貴男	ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(180119)	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	1 μ Sv/h	エリアAA	2018/11/8 11:25	21 m ²		180119	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				白川 盛一
高2018	—	11	—	0054
調整後保管日時				2018/11/12
2018年11月9日				13:00
【保管時の指示事項等】				

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	13:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)				横須賀 隆	横須賀 隆	高橋 秀		
	発生場所	定検機材倉庫A・B棟				2018/11/12	2018/11/12	2018/11/12		
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員	高橋 秀	TEL	0240-30-5429			
	元請会社	東京パワーテクノロジー(株)		担当者	遠藤 洋一	TEL	070-2162-1916			
	線量測定年月日	2018/11/9	測定者	鈴木雅之	測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	158,14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	フランジタンク片天板(180118)	B	11	D	A	21 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				

注: α 有、 $\beta \cdot \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。
20ftコンテナ詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	車田 貴男	ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				1	μ Sv/h	1	μ Sv/h	1	μ Sv/h			1	m ²			
1	f		フランジタンク片天板(180118)	1	μ Sv/h	1	μ Sv/h	1	μ Sv/h	エリアAA	2018/11/9 12:10	21	m ²		180118	1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	9:30	承認	井戸川 貴一	審査	井戸川 貴一	作成	佐藤 雅彦
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31		
	作業主管G	総務グループ			監理員	佐藤 雅彦	TEL	0240-30-5625			
	元請会社	株式会社アトックス			担当者	新野 達也	TEL	090-9638-1163			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	物江 良太	測定器名	F1-ICW	管理番号	215			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙類	A	01	D	A	5 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
	巡回回収場所:GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0058	
調整後保管日時					2018年11月8日
2018/11/1					9:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:30	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
	②	状 能	D:乾燥, W:湿気有			③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務				井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦			
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)				2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31			
	作業主管G	総務グループ		監理員	佐藤 雅彦	TEL	0240-30-5625				
	元請会社	株式会社アトックス		担当者	新野 達也	TEL	090-9638-1163				
線量測定年月日	2018/10/31	測定者	物江 良太		測定器名	F1-ICW		管理番号	215		
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	紙類	A	01	D	A	4 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無	
	2	紙類	A	01	D	A	1 m ²	4 μSv/h	20 μSv/h	無	
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
巡回回収場所	GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0059	
調整後保管日時					2018年11月8日 10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1	紙類		2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:30	3.2 m ²			1
2	1	紙類		2	μSv/h	2	μSv/h			エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 9:30	0.5 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦	
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	総務グループ			監理員	佐藤 雅彦	TEL	0240-30-5625		
	元請会社	株式会社アトックス			担当者	新野 達也	TEL	090-9638-1163		
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	物江 良太	測定器名	F1-ICW	管理番号	215		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	ダンボール			① ② ③	5 m ²	4 μ Sv/h	4 μ Sv/h	無		
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
メ	巡回回収場所: GM-19 北東									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0060
調整後保管日時				2018年11月9日 9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 9:30	5.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ												
モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					井戸川 貴一	井戸川 貴一	佐藤 雅彦	
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2018/10/31	2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	総務グループ			監理員	佐藤 雅彦	TEL	0240-30-5625		
	元請会社	株式会社アトックス			担当者	新野 達也	TEL	090-9638-1163		
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	物江 良太	測定器名	F1-ICW	管理番号	215		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	ダンボール	A	01	D	A	5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
巡回回収場所: GM-19 北東										

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0061	
調整後保管日時					2018年11月9日 10:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 9:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013706 - 0041	
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機薬液移送業務委託					川井 太	川井 太	発田 勇治		
	発生場所	5号機ヤード CD薬液タンク周り					2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	発田 勇治		TEL	0240-30-7133		
	元請会社	太平電業(株)			担当者	秋元 真嗣		TEL	090-9743-8283		
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	杉本 昌美		測定器名	電離箱		管理番号	F1-ICWBL-108	
	G No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	紙・ウエス類			A 01	W B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	ビニール袋・ビニールシート・プラスチック・インシュロック			A 02	W B	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	3	皮手袋・ガムテープ・ロープ			A 04	D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	ゴム類			C 01	D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 μSv/h	無		
5	サニーホース			C 03	D B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メ モ	巡回回収場所: GI-17										

線量測定内容									
測定日	2018年11月7日								
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158						
2	鈴木 善浩	ICWBL	F1-ICWBL-127						
3									
4									

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	15 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 10:10	0.3 m ²			1
	2	1	ビニール袋・ビニールシート・プラスチック・インシュロック	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 10:10	0.7 m ²			1
	3	1	皮手袋・ガムテープ・ロープ	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 10:10	0.1 m ²			1
	5	1	サニーホース	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 10:10	0.2 m ²			2
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	02	03	04	05
				紙・ウエス類	プラスチック・ホリ・ビニール類	木材類	可燃物その他	—
				—	—	—	—	—
				06	07	08	09	10
				金属ガラ	コンクリートガラ	機器類・制御盤類	土砂類	塩化ビニール類
B	不燃物	06	07	08	09	10		
		保温材	石綿含有物	ケーブル類	アスファルトガラ	不燃物その他		
		11	12	13	14	15		
		フランジタンク本体	フランジタンク付属品	—	—	—		
		01	02	03	04	05		
C	難燃物	ゴム類	難燃シート類	ホース類	難燃物その他	—		
		01	02	03	04	05		
		伐採木	伐採木(枝・葉)	—	—	—		
		01	02	03	04	05		
		伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—		
D	伐採木	01	02	03	04	05		
		伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—		
		01	02	03	04	05		
		伐採木(幹・根)	伐採木(枝・葉)	—	—	—		
		01	02	03	04	05		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	12:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事				白井 博行	本間 広信	本間 広信	
	発生場所	H4エリア (GN-25北)				2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	佐々木 辰茂	TEL	0240-30-7289		
	元請会社	大成建設㈱		担当者	日笠 秀人	TEL	080-9043-4432		
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者	長野 勝	測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	エフレックス管		①	②	③	5 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無
2						m ²			
3						m ²			
4						m ²			
5						m ²			
メモ	巡回回収場所:GN-25北 瓦礫に関する連絡は、大成・外山までお願いします。(080-5989-4123)								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0066
調整後保管日時				2018年11月7日 11:00
【保管時の指示事項等】 ●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	鈴木 善浩	ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	エフレックス管 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:20	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事						白井 博行	本間 広信	本間 広信	
	発生場所	H4エリア (GN-25北)						2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	佐々木 辰茂		TEL	0240-30-7289	
	元請会社	大成建設㈱				担当者	日笠 秀人		TEL	080-9043-4432	
	線量測定年月日	2018/11/1	測定者	長野 勝		測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	ビニール・プラスチック類				① ② ③	4 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2	木材				A 02 D B	1 m ²	0.02 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	巡回回収場所: GN-25北 瓦礫に関する連絡は、大成・外山までお願いします。(080-5989-4123)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0067
調整後保管日時				2018年11月7日 8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月7日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール・プラスチック類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:00	1.8 m ²			1
	2	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 9:00	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メ モ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 状態	02 履歴	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐 採 木	D:乾燥, W:湿気有	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002		
作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日			(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事						成田 和樹	安田 勝則	安田 勝則		
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	安田 勝則		TEL	0240-30-7297			
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体			担当者	植村 翔太		TEL	070-2023-1963			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	山口 洋		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	大型土嚢			A	04	D	B	5 m ³	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
4								m ³				
5								m ³				
メモ	巡回回収場所:GM-06 東											

固体廃棄物管理G記入欄										受付
受付番号										村田 啓二
高2018	—	11	—	0068	2018/11/5					
調整後保管日時		2018年11月7日			8:00					
【保管時の指示事項等】										
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。										

線量測定内容											
測定日	2018年11月7日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	大型土嚢	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 8:10	4.8 m ³			-1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日	(水)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事			成田 和樹	安田 勝則	安田 勝則			
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員	安田 勝則	TEL 0240-30-7297			
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体			担当者	植村 翔太	TEL 070-2023-1963			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	山口 洋	測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74			
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	紙類	A	01	W	B	5 m ²	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無	
2						m ²				
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
巡回回収場所: GM-06 東										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0069
調整後保管日時				2018年11月7日 8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 8:10	3.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	8:00		承認	審査	作成											
	作業件名	土捨場北側土地造成工事						成田 和樹	安田 勝則	安田 勝則										
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内 (GM-06 東)						2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2										
	作業主管 G	廃棄物基盤グループ				監理員	安田 勝則	TEL	0240-30-7297											
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体				担当者	植村 翔太	TEL	070-2023-1963											
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	山口 洋		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																
		1	排水管	C						04	D	B	5	m ²	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	無	
		2											m ²							
		3											m ²							
		4											m ²							
5						m ²														
巡回回収場所: GM-06 東																				

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0070
調整後保管日時				2018年11月8日
				8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	排水管 (→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 8:45	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※	
モ	

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		F	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
01	伐採木(幹・根)			02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	土捨場北側土地造成工事						成田 和樹	安田 勝則	安田 勝則
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員	安田 勝則	TEL	0240-30-7297	
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体				担当者	植村 翔太	TEL	070-2023-1963	
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	山口 洋	測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
	1	ゴムホース類			① ② ③	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無	
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	巡回回収場所:GM-06 東									

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					村田 啓二
高2018	—	11	—	0071	2018/11/5
調整後保管日時		2018年11月8日			8:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年11月8日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICWBL	F1-ICWBL-127
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴムホース類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/8 8:45	0.3 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 -- 0002

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0072
調整後保管日時				2018年11月9日 8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年11月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月9日 (金)		8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事				成田 和樹	安田 勝則	安田 勝則		
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)				2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	安田 勝則	TEL	0240-30-7297			
	元請会社	1F土捨場北側土地造成工事共同企業体		担当者	植村 翔太	TEL	070-2023-1963			
	線量測定年月日	2018/10/31	測定者	山口 洋	測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無		
			①	②	③			β + γ 線量率		
	1	プラスチック類	A	02	D	A	5 m ²	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
メモ	巡回回収場所: GM-06 東									

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 8:15	4.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						白井 博行	小椋 富味男	小椋 富味男	
	発生場所	H6タンクエリア						2018/11/2	2018/10/31	2018/10/31	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	菅野 裕太		TEL	0240-30-6634	
	元請会社	株式会社 安藤・間				担当者	本間 智人		TEL	070-3878-1928	
	線量測定年月日	2018/10/25	測定者	堀江 優		測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
G	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	木材類	A	03	D	B	5 m ²	20 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	巡回回収場所:GP-27										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0075
調整後保管日時				2018年11月7日 8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 8:30	5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年11月8日		(木)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事				白井 博行	小椋 富味男	小椋 富味男			
	発生場所	G4南エリア GJ32(東南)				2018/11/2	2018/11/1	2018/11/1			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	渡邊 崇	TEL	0240-30-7274				
	元請会社	清水建設(株)		担当者	櫻井 進一	TEL	090-9882-5551				
	線量測定年月日	2018/10/30	測定者	野田 知宏	測定器名	βγ用電離箱		管理番号			
							1F-ICWBL-39				
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③			β+γ 線量率				
1	紙・ウエス類	A	01	W	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
2	プラスチック・ポリ・ビニル類	A	02	W	B	2 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無		
4						m ²					
5						m ²					
巡回回収場所: GJ-32東南											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0076
調整後保管日時				2018年11月9日 8:30
【保管時の指示事項等】				
●時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	菊地 聡	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 8:50	0.4 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニル類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 8:50	0.5 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 8:50	0.8 m ²			1
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニル類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニル類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニル類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012802 - 0008

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月7日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	焼却設備炉関係定期点検工事【定例】						飯高 金治	島 大介	水津 祐貴	
	発生場所	雑個体焼却設備建屋 GL-12 南東						2018/11/2	2018/11/2	2018/11/2	
	作業主管G	廃棄物設備グループ				監理員	島 大介		TEL	963-3843	
	元請会社	原電エンジニアリング㈱				担当者	慶秀 友己		TEL	0240-23-5636	
	線量測定年月日	2018/11/2	測定者	岡田 拓也		測定器名	ICW		管理番号	リ-ICW-310	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
	1	紙・ウエス	A	01	D	B	0.5 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無	
	3	難燃物その他	C	04	D	B	0.2 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無	
4	ゴム類	C	01	D	A	0.2 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無		
5	難燃シート類	C	02	D	B	0.5 m ²	0.2 μSv/h	0.2 μSv/h	無		
巡回回収場所: GL-12 南東											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				村田 啓二
高2018	—	11	—	0078
調整後保管日時				2018年11月7日 11:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の積み込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月7日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	鈴木 善浩	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.3 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.2 m ²			1
	3	1	難燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.1 m ²			1
	4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.05 m ²			1
	5	1	難燃シート類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/7 11:00	0.2 m ²			1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	—	02	—	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015401 - 0001

作業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年11月9日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	チャート廃棄					吉田 一弘	山本 剛	西田 明	
	発生場所	No. 4資材倉庫(GK-17北)					2018/11/7	2018/11/7	2018/11/7	
	作業主管G	運営グループ			監理員	小川 健	TEL	963-2551		
	元請会社	東京電力ホールディングス株式会社			担当者	西田 明	TEL	963-4185		
	線量測定年月日	2018/11/5	測定者	西田 明	測定器名	AE-133B SURVEY METER	管理番号	F1-ICWBL-97		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	チャート用紙	A	01	D	A	1.8 m ²	0.005 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
4						m ²				
5						m ²				
メ モ	回収 西田殿直通:0240-30-5549									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				市本 尋庸
高2018	—	11	—	0090
調整後保管日時				2018年11月9日 10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年11月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1	佐藤 英明	ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	チャート用紙	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアV(瓦礫類)	2018/11/9 10:30	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。